



2024年5月9日

各 位

東京都港区虎ノ門四丁目1番28号
日本通信株式会社
代表取締役社長 福田 尚久
(コード番号: 9424)
問合せ先 執行役員CFO 小平 充
電話 03-5776-1700

個別業績および連結業績の前期実績との差異に関するお知らせ

日本通信株式会社(以下、「当社」という)は、2024年3月期(2023年4月1日~2024年3月31日)の個別業績および連結業績について、前期実績との差異が発生しましたのでお知らせいたします。

記

1. 前期個別実績との差異について

(1) 2024年3月期個別業績と前期実績との差異(2023年4月1日~2024年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前期実績(A)	百万円 5,811	百万円 837	百万円 835	百万円 717	円 銭 4.35
当期実績(B)	7,247	1,294	1,257	1,398	8.47
増減額(B-A)	1,435	456	422	681	
増減率(%)	24.7%	54.6%	50.6%	95.0%	

(2) 差異の理由

2024年3月期個別業績は、2020年7月から「日本通信SIM」ブランドで提供を開始した通話定額または準定額を備えたモバイル通信サービスが引き続き安定的に伸長し、売上高、利益ともに増加しました。

当社は、「日本通信SIM」ブランドの競争力を維持するため、商品仕様を拡充しており、同ブランドの売上は、当期においても、個人・法人の契約回線数ともに順調に伸長し、大手携帯電話事業者や大手MVNOからのMNP転入も増加しました。また、パートナーブランドでの音声通信サービスの契約回線数も順調に伸長し、モバイル通信サービスは、MVNO事業およびイネイブラー事業ともに成長することができました。

なお、当期純利益は、第1四半期において、Quanta Computer Inc.との訴訟の判決が確定したことに伴う特別利益(363百万円)を計上したことで、増加しました。

2. 前期連結実績との差異について

(1) 2024年3月期連結業績と前期実績との差異（2023年4月1日～2024年3月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する当期 純利益	1株当たり 当期純利益
前期実績 (A)	百万円 6,074	百万円 740	百万円 780	百万円 690	円 銭 4.19
当期実績 (B)	7,400	1,139	1,183	1,365	8.27
増減額 (B-A)	1,326	398	403	674	
増減率 (%)	21.8%	53.7%	51.6%	97.7%	

(2) 差異の理由

連結業績の前期実績との差異の理由は、個別業績の前期実績との差異の理由に起因するものです。

以 上

■日本通信について

日本通信株式会社は、1996年の創業時から強い信念をもってMVNOという新たな産業を生み出してきた会社です。あらゆるものがデジタル化し通信でつながる今日において、日本通信の特許技術であるモバイル専用線は、その主要システム全てにおいて国際セキュリティ基準のPCI DSS認定を取得し、警察や銀行、クレジットカード業界などの厳しいセキュリティ要件が求められる分野で採用されています。さらに日本通信は、世界最高水準のセキュリティを確保しつつも、利便性を損なわずに本人認証と取引内容の改ざん防止を可能とし、スマートフォンで金融取引を含めて社会全体で利用できる安全・安心・便利なデジタルIDの共通プラットフォーム化も進めています。日本通信は今後も、チャレンジャーであり続け、安全なモバイル環境が、国境を越えた社会インフラになることを目指してまいります。